

会 議 録

1 会議名

令和3年度第1回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

- ・令和3年度地域活動支援事業について（公開）
- ・令和3年度板倉区地域協議会意見交換会について（公開）

○その他（公開）

3 開催日時

令和3年4月22日（木）午後6時00分から午後7時23分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊
- ・事務局：板倉区総合事務所 川瀬所長、高波次長（総務・地域振興グループ長兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、大堀建設グループ長、丸山市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、小池地域振興班長、成見主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【高波次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井達夫会長】

- ・挨拶

【川瀬総合事務所長】

- ・挨拶
- ・新入職員の紹介

【平井達夫会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
4 協議 令和3年度地域活動支援事業について、事務局に説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1、2により説明
本日は、審査日程等について、ご協議の上決定いただきたい。

【平井達夫会長】

質問、意見を求める。

【田中睦夫委員】

提案内容がまだわからないが、現地確認について、もし光ケ原高原に関する提案があった場合現地に行くことができるのか。すべての提案について現地確認をするのか。

【小池地域振興班長】

過去の記録を見ると、光ケ原高原には時期的に行くことができないので現地確認はしていなかった。またソフト事業については現地確認はできない。どの事業について現地確認をするのかは、会長、副会長と相談しながら決めていきたい。

【西田節夫委員】

提案団体への質問票についてだが、ヒアリング時に回答するのであれば、質問票はいらないのではないか。昨年度はコロナ渦でヒアリングを行わなかったので質問票を送って回答を貰った。その前まではヒアリングをしていたが質問票はなかった。ヒアリングまでに委員が提案書を見て当日質問すればよいのではないか。

【小池地域振興班長】

ヒアリング前に質問票を送らない場合、ヒアリング当日に質問されて提案団体が適格な回答ができるのかという不安があるため質問票を送る日程にした。どういった日程にするかは協議の上、委員の皆さんで決めていただきたい。

【小林政弘委員】

ヒアリングの制約時間にもよるが、私は事前に質問票を送った方がよいと思う。ヒアリング当日までに提案団体が回答をまとめてヒアリングに臨んでいただく方が一般的ではないかと思うので提案どおりで進めていただきたい。

【長藤豊委員】

私も同じ意見である。3月に開催した活動報告会で昨年度の地域活動支援事業の実績報告をしていただいたとき、その場の質問に対して回答がよく分からない部分があったので、事前に質問を送って回答を準備していただいた方がよいと思う。

【平井達夫会長】

事前に質問票を送った方がよいと思う委員は挙手願う。

(挙手多数)

では、事前に質問票を送ることにする。

日程等については提案どおりでよいか。

(異議なし)

では提案団体への質問、ヒアリングについては提案どおりとする。

採点票については地域活動支援事業審査基準検討部会で決めていただいた様式となっているがこれでよいか。

(異議なし)

では、採点票は資料のとおりとする。

次に、令和3年度板倉区地域協議会意見交換会について、事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

・資料3により説明

実施時期については、コロナの感染状況によるが、地区から話し合いたいテーマを6月中くらいまでにあげていただいて、意見交換会の開催は7月から8月にかけて行いたい。また、活動団体との意見交換については5月中に各部会を開いていただき、6月～7月に開催するのはどうかと考えている。

本日は、意見交換会の実施方法について協議をお願いしたい。

【平井達夫会長】

まず、資料3の右上欄に各地区の意見交換会の担当委員案があるが、これについ

て意見を求める。

【長藤豊委員】

筒方地区についてだが、筒方地区の委員というと私と池田委員であり、2人とも町内会長である。また、私は筒方地区連絡協議会の会長でもある。意見交換会の進め方にもよるかもしれないが、できれば私は連絡協議会の会長として出席させていただき、委員の立場としては抜けて別の地区に出席できないか検討していただきたい。

【平井達夫会長】

筒方地区について、長藤委員は連絡協議会の会長、池田委員は町内会長ということで、長藤委員から折衷案を出されたが、これについて他の委員の意見を求める。

【庄山健委員】

私は、それぞれ連絡協議会の会長、町内会長であれば、そちらの立場で参加された方がよいと思う。

【平井達夫会長】

他の委員の意見はどうか。

【西田節夫委員】

長藤委員は連絡協議会の会長であるので地域の意見をまとめていただく立場であるが、筒方地区の担当委員は他に秋山委員と手塚委員がいるので、その2人に進行係と記録係をやってもらえば担当委員はそのままでよいのではないかと。長藤委員の意見を聞きたい。

【長藤豊委員】

連絡協議会の会長であるから地域の意見をまとめ、代表して発言しなければならない。他の委員もそのままでよいと言うのであれば、そのようにする。

【平井達夫会長】

今の意見について、他の委員の意見を求める。

【植木節子委員】

他の委員で町内会長をしている人はいないのか。私は意見交換会は多くの方の意見を集めたいと思っている。私は豊原地区の担当になっているが、他の地区の意見も聞いてみたいので長藤委員と交代してもよい。できれば連絡協議会会長の立場と

地域協議会委員の立場は重ならない方がよいと思う。

【庄山健委員】

地域協議会委員として名を連ねると、フリーな立場で意見が言いづらいと思う。
人が足りなければ私が行ってもよい。

【小林政弘委員】

総合事務所の方も出られると思うので、その場で委員が答えるということではないと思うが、長藤委員は連絡協議会長の立場で地区の意見をまとめて出席された方がよいのではないか。町内会長である池田委員はそのままでよいと思う。

【長藤豊委員】

植木委員から提案があったので、筒方地区の私と豊原地区の植木委員と交代させてもらいたい。

【平井達夫会長】

町内会長である池田委員はそのままでよいか。

(異議なし)

では、そのままでお願いすることとし、筒方地区の長藤委員と豊原地区の植木委員を交代することとする。

次に活動団体との意見交換については、座長の元で5月中に部会を実施するということがよいか。

(異議なし)

では、各座長の方から要請があったら部会に出席してほしい。

日程については、コロナ渦であり意見交換会は人が集まるということであるから非常に難しい判断となる。いつから行ったらよいか意見を求める。

【庄山健委員】

コロナのワクチンは7月で65歳以上には接種が行われる予定ということなので、その後に実施したらよいと思う。

【平井達夫会長】

他にないか。

【下鳥治委員】

川瀬所長に聞きたいのだが、イベントや会議を行うときのコロナ対策として、上

越市は市民にどのように指導しているのか。

【川瀬総合事務所長】

指導というか基準はあるのだが、今資料を持ち合わせていないので詳しい基準は申し上げられない。会議を開催するときは、人と人との間隔をあけたり、手指の消毒、マスクを着用してもらったりしている。昨年を思い出せば、前職は都市整備課だったのだが、例えば地域に何って会議を開くというようなことはできなかった。ただ、その後会議を開催するときは感染対策を行って会議を開催した事実もある。会議を開く場合は人と人との間隔をあけたり、当然ながら感染対策を行っていかなければならないと思っている。

【下鳥治委員】

基準があるというのであれば、その基準を守って開催すればいいと思う。

【川瀬総合事務所長】

会議を案内するときは数週間先の日程を案内するのだが、「感染状況を見て会議を中止することもある」と案内している。コロナの感染状況を見て実施について中止の判断もしていく。

【平井達夫会長】

私の所属している町内会や老人会も現在会合は行っていない。町内会がそういう動きの中で地域協議会が率先して会議を開催するということもできないと思っている。大局的な判断を行わなければいけない。

【長藤豊委員】

私は民生委員でもあるが、前回の民生委員の会議のときに千葉県の基準に基づいた資料をもらった。その基準は分かりやすかったので町内でも配った。レベル分けをしてあって、一番軽度のものは二週間以内に上越市で感染者が出た場合、次のレベルは二週間以内に板倉区内で感染者が出た場合、その次は筒方地区で二週間以内に出た場合に会議の開催を判断するといったものである。うちの町内は先日春祭りを行ったのだが、この基準に基づき、二週間以内に上越市内で感染者は出たが板倉区内では出たという報道はなかったので、参加者を区内の人に限って祭りを行った。

上越市内の感染者がいるのは分かっても、どこの区で出たとまでは教えてもらえないので基準に当てはめられないのがもどかしい部分はある。できればどこの区で

感染者が出たかまで発表してもらいたい。

【平井達夫会長】

一つの意見として頭に刻んでももらいたい。

他にないか。

(意見なし)

では、地区との意見交換会については、また別に進行係と記録係を決めてもらいたい。また、団体との意見交換会については座長が責任をもって進めてもらいたい。

【庄山健委員】

参加者についてだが、集落づくり推進員や地域おこし協力隊の意見も聞いてみたいのだがどうか。

【平井達夫会長】

それはよいと思う。

【小池地域振興班長】

集落づくり推進員は、現在板倉区では野口推進員がいる。地域おこし協力隊については、地域から要望が出ているのだが、なかなか採用に至らず、現在コロナの関係もあり募集を一回ストップしている状況である。改めて募集要項を見直しながら、自治・地域振興課も含めて再募集について検討していきたいと考えている。

集落づくり推進員については日程を考慮しながら出席できる場所は出席できるように事務局で検討していきたい。

【長藤豊委員】

各部会で行う団体との意見交換会については、どのような団体が考えられるのか前回の会議でも話があったと思うが、リストアップしていただけるとありがたい。

【平井達夫会長】

事務局の方で3部会がどのような団体との意見交換が考えられるのかリストアップをお願いしたい。

他にないか。

【田中睦夫委員】

地域との意見交換の共通テーマとしてやすらぎ荘が入っているが、どういうふう

に話題としてもっていこうと事務局は考えているのか。私は産業建設部会の座長だ

が、前回部会を開いたとき、やすらぎ荘やゑしんの里などの観光関係の団体との意見交換会をやりたいという意見が出ていた。共通テーマは結構なのだが、漠然としているとまとまりがつかないのではないか。事務局はどのように進めたいと思っているのか。

【関根産業G長】

やすらぎ荘については、市としては公の施設の再配置計画で引き続き協議ということで結論が出ていない。昨年度も関係団体には説明させていただいたのだが、地域協議会の意見交換会においても皆さんの意見を広くお聞きしたいと思い、予定として考えているところである。

【田中睦夫委員】

それは分かったが、6地区で意見交換会を行う中で、他にもいろいろとテーマが出てくると思う。会議は2時間程度で行うとして、テーマが何もなければやすらぎ荘について話せばよいと思うが、各地区から出てきたテーマがいくつもあるかもしれないので、そちらを優先して意見交換を行った方がよいと思う。

【小林政弘委員】

やすらぎ荘の件は大きな問題である。関係する団体と別途しっかり話した方がよいと思う。テーマから外したらどうか。

【西田節夫委員】

やすらぎ荘の現在の状況やこれからどうなるんだということは、地域の人には知らないと思う。地域協議会でばかり話していても仕方がない。意見交換会の一番最後にやすらぎ荘についての現状を説明して、その場で意見を貰わなくてもよいが後で意見を貰ってもよいということで、こういう問題があると話だけはしてもらった方がよいと思う。

【小池地域振興班長】

前回の会議のときに、各地区との意見交換会のテーマについて協議を行い、やすらぎ荘は地域の共通のテーマとして意見交換を行い、その他地域で課題になっていることについて事前にテーマを出してもらおうということになった。産業グループとしても、地域の方々からいろいろな機会をとらえて広く意見をお聞きしたいという予定にしていたが、日程については未定である。この共通テーマについては事務

局で再検討したい。

【平井達夫会長】

いろいろな意見が出たが、総合的に検討して計画してほしい。どの問題も板倉区にとっては大きな問題であるが、やすらぎ荘については特に板倉区だけでなく近隣の区にとっても大きな問題である。時間もあるので、じっくり検討してもらいたい。

その他、事務局から何かあるか。

【小池地域振興班長】

参考資料の地域協議会委員の名簿をご覧いただきたい。昨年度作成したものである。地域協議会だよりについて、今年度の地域協議会だより編集委員は、山本委員、西田委員、下鳥委員、田中委員である。編集委員長を選任と発行スケジュールについてご協議いただきたい。

次に、各種会議等への委員推薦についてだが、名簿のとおり昨年に引き続き板倉区公共交通懇話会の委員については古川副会長、上越市社会福祉協議会理事には手塚委員、光ケ原高原ファンクラブオブザーバーには田中委員にお願いするということでご確認いただきたい。

【平井達夫会長】

地域協議会だより編集委員長及び発行スケジュールについては、委員の4人でご協議いただき、後日報告をお願いしたい。

また板倉区公共交通懇話会委員については、引き続き古川副会長を委員として推薦し、上越市社会福祉協議会理事については手塚委員に、光ケ原高原ファンクラブについては田中委員にお願いすることとしてよいか。

特に社会福祉協議会の理事について、任期が6月までとなっているが、社会福祉協議会の方から手塚委員に引き続きお願いしたいと正式に依頼があった。

(異議なし)

それでは、古川副会長、手塚委員、田中委員には引き続きよろしくお願いしたい。

次にその他、令和3年度板倉区における主な事業について事務局の説明を求める。

【高波次長】

- ・資料4について説明

【平井達夫会長】

委員の質問、意見を求める。

【小林政弘委員】

防災行政無線整備事業について、私の記憶では令和元年のときに希望調査をしたときに、私どもの町内会は約3割が更新希望しなかった。現在の全体の設置率はどうか。

【高波次長】

戸別受信機については設置率のパーセントは把握してないが、かなりの方が現在はスマホなどの情報媒体で情報がとれるので、結構な割合で希望していない人もいる。すべての人がすぐにスマホで情報をとれるわけではないので多くの方が更新をしている。

【小林政弘委員】

現在はJ C Vやスマホですべての情報がとれるわけでもない。その辺をどういふふうにかバーしていくのか。長期的な計画があれば教えてほしい。

【高波次長】

市として災害時の緊急情報や行政情報を提供するわけなので、住民の皆さんに届けたい思いでいる。私は昨年度まで中郷区にいたが、設置を希望しない人のアンケートの結果を見ると、音がうるさいだとか耳に響いてびっくりしたとか、若い人は情報を別にとれるから必要ないという意見が多かった。市では携帯電話の安全メールもあるので、いずれかの方法で情報を得ることができるように市としても広報していきたい。

【植木節子委員】

防災無線の関係だが、今年の雪害で修理が必要な人もいるが個人負担で直すのか。

それと、アンテナの形が格好悪いと思う。前より形が長くて、私は住宅関係の仕事をしているが、新築の家に付けてくれと言いつらいので、形を考えてもらいたい。

【高波次長】

アンテナの形については、現在工事が進行中なので、このままのサイズでご理解いただきたい。

【植木節子委員】

今、若い人は格好が悪いと付けたがらない。税金で行っている事業なので、もう

少し考えてもらいたい。

【高波次長】

ご意見として承る。雪害で故障した場合の費用負担については具体的なものがわかれば確認したい。

【小林政弘委員】

板倉小学校の統合の話し合いのときに、町内会長から宮嶋小学校と山部小学校の跡地の活用について様々な意見が出た。期間が無かったので市は方針などは無いかと思うが、校舎については避難場所にもなっているので、防災面、安全面からも今後の活用方法の検討や建物の管理などの役割分担をはっきり示してほしい。活用方法について市は何か考えはあるか。

【丸山教育・文化G長】

旧小学校の利活用については話は進んでいない状況である。今後は教育財産としては残るので必要最低限の維持管理という形で当面は進めていく。活用方法については今後関係機関と話しをつめていきたい。

【小林政弘委員】

グラウンドの草は伸びるし、維持管理の面で早急に町内会長や連絡協議会会長と役割分担について話し合ってもらいたい。

【植木節子委員】

閉校した宮嶋小学校について、バレーボールで使った人から水が出なかったという話を聞いたが、避難場所になっているがどうなっているのか。

【丸山教育・文化G長】

閉校になっても校舎については、避難場所や選挙の投票所になっているので水は飲めないがトイレ等使える場所になっているはずである。また確認させていただきたい。

【植木節子委員】

私も町内の常会で聞いた話で学校にも行ってないので、確認をお願いしたい。

【下鳥治委員】

スクールバスについて、川瀬所長に聞きたい。バスを見てどのような感じがしたか。白地で上越市と書いてあるが、何かペイントとか、観光の宣伝とか何か入れる

考えはないか。

【川瀬総合事務所長】

スクールバスというと子どもたちが乗るバスなので、そういったものを描くというのはどうかと思う。例えば観光バスであればペイントをすることもあると思うが、板倉区内を走るバスであるので皆さんの意見を聞きながら考えたい。

【下鳥治委員】

バスの白地の部分は非常にもったいない面積だと思う。光ヶ原高原や、やすらぎ荘を板倉区内の方から多く使ってほしいのもっと宣伝してほしい。バスはデマンドでも使っているし、区内の発展のために何かできないか。白地がもったいないと思うのでご一考願いたい。

【平井達夫会長】

他になれば、この件は終了する。

他に事務局何かないか。

【関根産業G長】

やすらぎ荘の営業時間について説明する。4月中旬に委員へは文書でご案内したが、現在コロナの収束が見込めずに、入館者の動向が見えないため、営業時間を通常午後8時までのところ、引き続き午後7時30分までとしていることをお伝えする。

【平井達夫会長】

- ・ 次回の勉強会及び地域協議会は5月26日に開催
- ・ 会議録の確認は庄山委員に依頼

【古川政繁副会長】

- ・ 挨拶

【高波次長】

以上で、第1回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-78-2141 (内線123)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。